

# くずまき 議会だより



**葛巻病院**

**8月から内科医を増員**

2p

**今ここが聞きたい** 2議員が町政を問う

4p

**被災地の復興を学ぶ** ~常任委員会研修~

9p

**住民要望の解決へ** ~常任委員会町内視察~

10p

笑顔のつどい



表紙

葛巻ミニバスケット  
ボールクラブの皆さん  
(関連12P)



# 葛巻病院 8月から内科医を増員

## 25年度病院事業会計決算状況

(税抜き)

区分	25年度	24年度	前年対比
事業収益(a)	8億2,746万円	8億4,966万円	△2.6%
事業費用(b)	8億 95万円	8億1,160万円	△1.3%
純利益(c)=(a)-(b)	2,651万円	3,807万円	△30.4%
前年度繰越欠損金(d)	2億3,523万円	2億7,330万円	△13.9%
当年度未処理欠損金(d)-(c)	2億 872万円	2億3,523万円	△11.3%

25年度決算は、事業収益8億2,746万円に対して、事業費用が8億9,500万円となり、2億6,511万円の純利益を計上し、単年度黒字決算です。

25年度決算  
認定

病院事業会計  
黒字決算に

これにより、未処理欠損金が2億8,720万円に減少しました。決算の状況は、上の表のとおりです。

昨年度、葛巻病院では健康講話の開催、訪問診療や看護科職員の接遇改善など、医療サービスを向上させる新たな取り組みを始めました。患者の状況は、年間の延べ入院患者数が、1万3,934人で前年度に比べて10,188人、7.9%増加しました。外来患者数は、3万3,980人で前年度に比べて2,900人、7.9%の減少です。新病院の開設を見据え、さらなる経営努力が必要と考えます。



町長に決算審査意見書を提出する監査委員

25年度決算は、一般会計からの繰り入れにより、単年度黒字決算です。引き続き、財政の健全化を望みます。一般病床の利用率が37.3%と低迷していますが、医療収益の確保と経営の安定化への取り組みに努力が必要です。個人未収金は、効果的な回収を求めます。

### 監査委員の意見

※病院事業会計の決算認定は、これまで9月定例会議に提案されてきましたが、今年の会期制による7月定例会議になったため、地方公営企業法の規定により、今回提案されたものです。

## 7月定例会議

7月定例会議は、7月4日から11日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、26年度補正予算や25年度葛巻病院事業会計の決算認定など5件、すべて全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問では2名の議員が登場し、町の対応や考えをたずねました。



佐々木葛巻病院名誉院長による健康講話の様子（四日市地区）

### 初の7月定例会議

議会総合条例を施行後、初の「7月定例会議」を開きました。6月から7月の開催に変更した理由は、国や県議会、県議会の閉会後に町の議会を開くためです。国や県の予算が決まったことで、国の補助事業に関連する町の予算などを、速やかに審議して決めることができます。これにより、工事発注の事務などを、早く進めることが可能になります。なお、7月に定例会議を行っている議会は、県内で本町のみです。

### 内科医を増員

葛巻病院事業会計の補正予算で、医師住宅を新築する予算を提案。

8月から新たに女性の医師が着任することにより、旧役場跡地（下町）に建設します。

着任した山崎都先生は島根県の出身で、東北大学病院などで勤務され、8月から診療を開始しています。内科医で、呼吸器、老人病学や和漢診療学が専門です。

また、来年の4月には、男性の内科医が着任する予定です。新病院の開設に向けた諸準備が進んでいます。



葛巻病院に着任した山崎都副院長

### 決算特別委員会

決算特別委員会（山岸はる美委員長、山崎邦廣副委員長）を設置し、7月8日に病院会計の決算審査を行いました。

回収不能未収金 葛巻病院  
整理の考えは

問 回収が見込まれない個人未収金を整理する考えは。

答 新病院の開設までに、整理する計画で事務を進めます。

病院が目指す医療体制は 葛巻病院

問 町民に親しまれる病院として、望ましい医療体制は。

答 医師、看護師、事務職員が連携し、それぞれの役割をしっかりと果たせる医療体制づくりに取り組めます。





やまぎし み 山岸はる美 議員

～ 今ここが聞きたい ～

7月4日に、2議員が一般質問を行いました。一般質問は、町の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などを幅広い視点から報告や説明を求め質問します。議員の質問できる時間は、1時間以内です。

問 今後進める定住対策は

答 産業振興などを積極的に推進

議員 日本創成会議※は2040年に全国の半数の自治体が、消滅する可能性がある試算を公表しました。本町の人口が3330人まで減少が進むものです。

人口減少対策で町が進めてきた定住促進事業の成果と今後の見通しは。新たな企業誘致の見通しと、出産・子育て支援の拡充の考えは。

町長 町の人口は、昭和35年の1万6902人をピークに年々減少を続け、今年の5月末現在6925人です。

町長に就任した直後から、定住人口拡大に各種助成事業を創設し、21年度から25年度までの移住者は31件、76人の実績があり、一定の成果があったものと認識しています。人口減少対策は、経済的負担が軽減され、一定の所得が得られる中で、



子供たちへの読み聞かせの様子 (保健センター)

出産や子育てがしやすい環境の構築と、魅力的なまちづくりを進め、一人でも多くの移住者を獲得することだと考えます。

そのためには、数十年先を見据え、これまで以上に産業の振興や雇用の確保、子育て支援を推進していきます。

現在、新規進出の企業の予定はありませんが、盛岡広域8市町が連携して首都圏での企業訪問など、新規の企業誘致に努力しています。

出産、子育て支援は本年度策定予定の「葛巻町

子ども子育て支援計画」で、積極的な取り組みや支援策を考えていきます。

問 風力発電所今後の計画は

答 袖山地区に新たに整備の考え

議員 エコ・ワールドくずまき風力発電所の今後の計画は。

町長 施設の稼働から15年経過し、当初の目的を果たしたことから、事業を清算する方向で調整しています。

筆頭株主のエコ・パワー株式会社では、新た

な風力発電所の候補地に、袖山地区を考えています。町では新たな風力発電所の整備に協力する考えです。

問 鳥獣が原因の農作物の被害は

答 ニホンジカによる牧草の被害など

議員 ニホンジカ、クマによる農作物などの被害状況は。

町長 ニホンジカは、当町でも数年前から目撃情報が寄せられるようになり、昨年度は、牧草の被害報告がありました。また、クマや鳥獣による農作物被害が発生しており、特に、クマの人的被害が懸念されるため、町猟友会などと連携を密にしなが、被害防止に努めていきます。

※日本創成会議 平成23年5月に発足した有識者らの構成による、政策発信組織。国民の立場から、新しい日本を創るための提言などを行っています。



しばた いさお 柴田 勇雄 議員

問 人口減少の対応策は

答 若者の流出防止策を充実強化

議員 町の人口が減少している現状から、やがて「消滅する町」と日本創成会議※が公表しました。

人口減少対策は、町の存亡をかけた最重要課題であり、長期の人口動態を見据えた町のあり方や人口減少速度の抑制策など、総合的な視点に立った施策が必要で、今後の人口減少の対応策は。

町長 示されたデータは、将来を予測した指標であり、参考に過ぎないと思います。しかし、現に人口減少が進んでいる中で無視できないデータと考えています。

地域の持続可能性は、人口の数では無く、住民一人ひとりが、さらに一体となり、郷土に対する愛情と情熱を持った町づくりを継続できるかだと考えます。

当町の人口減少の主要因は、若者の流出と未婚者の増加です。これまで「新婚ライフサポート事業」、「乳幼児・児童生徒医療費助成」、「保育料の軽減」などを実施していますが、支援策の充実と新たな取り組みを図ります。

一方、女性や高齢者が積極的に地域社会に参画しやすい環境の充実と支援に努めます。

産業面では、「くずまき高原」を冠した「くず

まきブランド」や「東北一の酪農の町」の未来を見据えた「新葛巻型酪農構想プロジェクト」の確立や6次産業化を中心とした地場産業の振興を加速化させ、全国から人を呼び込み、「山村のモデル」となるよう魅力ある町づくりを進めます。

問 教委制度見直し町長の所見は

答 状況を見据え慎重に進める

議員 教育委員会制度を見直す「教委改革法」が国会で成立しました。首長の権限が強化されますが、町長の所見は。

町長 今回の教委改革法は、「総合教育会議」の新設と教育委員長と教育長を統合し、新「教育長」制度の誕生などが主な改正内容です。

法律は、27年4月施行ですが制度の詳細がまだ国から示されていないと、また、現教育長の任期は29年12月までとなっています。この任期終了後から3年の任期で施行となります。新制度の運用は、他市町村の状況などを見極め慎重に進めます。

本町では、保育園児から児童・生徒の学校教育を一体的に教育委員会が担当していますので、さらに相互連携を深め、次代を担う子供たちのために取り組んでまいります。



定住奨励金、新婚ライフサポート金の交付式



# 町営小屋瀬住宅 6棟整備



单身と家族向けの住宅を3棟ずつ整備した町営小屋瀬住宅

6月会議と7月定例会議で、26年度補正予算、条例の一部改正などの審議が行われ、原案どおり『決定』しました。主な内容は次のとおりです。

## 条例改正

### ●町税条例の改正

軽自動車税の税率を、引き上げます。主な改正内容は次のとおりです。

軽自動車	現行	改正後
3輪のもの	3,100円	⇒ 3,900円
4輪・乗用・自家用	7,200円	⇒ 10,800円
4輪・貨物用・自家用	4,000円	⇒ 5,000円

※27年4月2日以降に購入する新車対象で、28年度から税率が上がります。ただし、27年4月1日に購入した新車は、27年度から適用します。

原動機付自転車	現行	改正後
50cc以下	1,000円	⇒ 2,000円
50cc超～90cc以下	1,200円	⇒ 2,000円
90cc超～125cc以下	1,600円	⇒ 2,400円
小型特殊自動車	現行	改正後
農耕作業用のもの	1,600円	⇒ 2,400円

※27年度から税率が上がります。

## 財産取得

### ●除雪ドーザ(1トン級)

◇契約額 1404万円  
◇納期 26年11月10日  
◇契約相手 コマツ岩手(株) 二戸営業所 (二戸町)

### ●除雪ドーザ(4トン級)

◇契約額 497万円  
◇納期 26年11月10日  
◇契約相手 キャタピラ 1東北(株) 盛岡営業所 (滝沢市)

### ●小型動力ポンプ付積載車(第13・16分団)

◇契約額 2862万円  
◇納期 27年2月28日  
◇契約相手 互光商事(株) (矢巾町)

### ●バスケット台(4台)

◇契約額 1507万円  
◇納期 26年7月20日  
◇契約相手 (株)千葉運動具店(久慈市)  
◇納入場所 社会体育館

## その他

### ●車両損傷事故に係る和解

第15分団の消防用ホースを乾燥塔につり下げていたところ、強風の影響で外れ、付近に駐車していた車両を損傷させた事故の和解に関し、損害賠償の内容を議決しました。  
〔損害賠償額〕 301,914円

## 26年度補正予算

会計名	補正額	補正後の予算額
一般会計	3億7,760万円	55億9,764万円
病院事業会計(収益的収支)	1,489万円	13億9,853万円

### 《主な予算の使いみち》

- 葛巻高校の生徒送迎用バスの購入…………… 650万円 (久慈方面、岩泉方面の送迎)
- 認知症対応型共同生活介護施設(※)整備補助金…………… 3,540万円 (旧町営小屋瀬住宅跡地に整備。27年4月からサービス開始予定)
- 自治総合センターコミュニティ助成金…………… 880万円
  - ・田代自治会 (投光器、除雪機など)
  - ・市内自治会 (除雪機、会議用テーブルと椅子など)
  - ・葛巻神楽保存会 (神楽の衣装など)
  - ・城内小路自治会自主防災隊 (除雪機)

## 補正予算

一般会計に3億7760万円追加し、総額を55億9764万円としました

た。支出では、財政調整基金に2億円を積み立て、総額9億2260万に、町債減債基金に1億円を積み立て、総額6億10

# 葛巻生の送迎バスを更新

安全で安心な送迎を確保



更新された葛巻生の送迎バス

(※)「認知症対応型共同生活介護施設」認知症の高齢者の方が共同生活をしながら、入浴や食事などの介護サービスを受ける施設。

42万に、町の基金(貯金)の総額は、44億8655万円になります。各会計の補正額と主な予算の使いみちは上の表のとおりです。

## 議員の判断(議決結果)

■ 6月会議と7月定例会議で、全議員の賛成で決定した議案

議案番号	議員名	山崎邦廣	大平守	柴田勇雄	鈴木満	姉帯春治	小谷地喜代治	山岸はる美	辰柳敬一	高宮一明	中崎和久
議案27号	平成26年度葛巻町一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案28号	財産の取得に関し議決を求めることについて(除雪ドーザ11t級)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案29号	財産の取得に関し議決を求めることについて(除雪ドーザ4t級)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案30号	財産の取得に関し議決を求めることについて(小型動力消防ポンプ付積載車)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案31号	財産の取得に関し議決を求めることについて(バスケット台)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案32号	平成26年度葛巻町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案33号	平成26年度葛巻町国民健康保険病院事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案34号	企業立地促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案35号	葛巻町町営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1号	平成25年度葛巻町国民健康保険病院事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○は原案に賛成。  
※ 議長は採決に加わりません。

■ 賛否が分かれた議案はありませんでした。



# 被災地の復興を学ぶ

## 共通課題の早期解決を

### 県立高校の存続など 要望5項目を承認

岩手地区議会議長会（中崎和久会長）主催による、第61回岩手地区議会議員大会が7月25日、岩手町で開催されました。  
地区内の議会議員、来賓として県議会議員、地区内の市町長など約110人が参加し、さらなる地域の発展を相互に確認し親交を深めました。

この大会は、滝沢市、葛巻町、岩手町、雫石町で構成する市町議会が、共通する地域課題の早期解決に向けて互いに協力して検討するために、毎年開催しています。

満場一致で承認された要望5項目は、地区議会議長会が後日、県選出国会議員や県の関係機関に対して要望活動を行います。要望の内容は下の表のとおりです。

大会では、道路整備など5項目の要望事項を、各市町の議会議員がそれぞれ提案。本町からは、鈴木満議員が「林業振興対策の推進」について、再造林の拡大や林業担い手を確保する対策が重要であると説明しました。



提案説明する鈴木議員

- 岩手地区議会議長会 要望提案内容（要約）
- ① 広域的な観点からの道路整備の早期実現
  - ② 地域振興の観点からの道路の整備促進
  - ③ 県立高校の存続
  - ④ 魅力ある農業・農村を復活させる農業振興対策の推進
  - ⑤ 林業担い手確保対策、林業施策の充実強化

#### 講演

大会終了後、内閣府政策統括官（防災担当）付参事官の四日市正俊氏を講師に、「東日本大震災の教訓を踏まえた我が国の防災対策の見直し」と題して講演が行われました。

四日市氏は、岩手町川口の出身です。

講演では、東日本大震災を教訓に、最大クラスの地震や津波など、あらゆる可能性を想定した災害への対策が必要と説明がありました。

また、このような災害の発生に対応するために、事前の準備や備えが最も大切であることを、強い思いで話されました。

有事の際に備えて、関係機関が連携した、あらゆる訓練の必要性を感じました。



講演を行う四日市氏

### 田野畑村・山田町を視察

#### ～輝くふるさと常任委員会研修～

輝くふるさと常任委員会は4月21日と22日、鈴木町長も同行し、田野畑村と山田町を訪問しました。

東日本大震災による被害状況の確認、復興に向けた取り組みなどを研修しました。両町村とも厳しい状況の中、行政と住民が一体となった復興を進めていました。

#### 田野畑村【被害状況】

- ・死者23人、行方不明者15人
  - ・住家被害 281棟（うち全壊225棟）
  - ・仮設住宅入居状況 127世帯
- ※震災直後と比較して、約7割が未だに仮設住宅などで生活。  
（26年3月末現在）



復興状況を説明する石原村長

田野畑村では、東日本大震災発生後、40分後に津波が到達。村の南東に位置する島越地区が甚大な被害を受けました。

24年3月に災害復興計画を策定し、復興の取り組みを本格的に進めていました。

住宅再建を早期に進めるために、有利な補助事業を活用して新たな団地を造成し、災害公営住宅など114区画を整備。水産業関連施設は、ほぼ震災前の状態に復旧していました。

#### 山田町【被害状況】

- ・死者672人、行方不明者148人
  - ・住家被害 3,369棟（うち全壊2,762棟）
- ※町内の約半数の住家が被害。  
・仮設住宅建設戸数 1,940戸  
（26年3月末現在）

山田町は、被災のあった沿岸地域でも被害が大きく、復興の取り組みが遅れている状況でした。

震災後に開催した住民説明会では多くの要望などが出され、仮設住宅への入居可能時期や防潮堤の整備に関する意見が多かったようです。

また、避難所に仮設シャワーやトイレを配置する際の配慮や、学校施設を避難所として開設する場合の問題点など、今後の参考になる説明を受けました。

【研修を終えて】  
今後発生が想定されるあらゆる災害に対し、町と議会が一体となつて対応ができる連携の構築が必要と考えます。  
住民と一体となつた議会活動がさらに必要なことから、多くの声を聴きながら議会の活性化に努めます。



山田町役場の屋上から被災状況を確認する議員





# 住民要望の解決に向け

担当者から説明を受け状況を確認する議員。



# 現地の状況を確認

(左) 寺畑地区 (寺畑橋)、(右) 四日市地区 (町道四日市中村線)

# 災害復旧工事箇所などを調査

## 「輝くふるさと常任委員会」所管事務調査

輝くふるさと常任委員会は6月3日と4日、25年度に完了した事業と26年度に実施する工事箇所などの調査のため、町内を視察しました。2日目は、県盛岡広域振興局土木部岩手土木センター(志田悟所長)と「県営工事の情報交換会」を開催。鈴木町長、觸澤副町長も出席し、県が行う道路整備事業などについて意見を交わしました。

が狭いため、周辺を含めた一体的な整備の検討が必要」などの意見が出されました。

町道宝積寺線では、昨年度の調査で議会が指摘した意見を踏まえ、道路の拡幅や融雪システムの設置箇所が延長されていることを確認しました。

### 工事の実績と進捗の状況

今回の調査では、25年9月に発生した台風18号の影響で破損した町道などの復旧工事箇所の進捗状況や、すでに完了した工事箇所の様子を調査しました。

1日目は、町中心部と江刈方面を中心に調査。町道葛巻浦子内線の道路整備と大橋の架け替え工事では、「大橋を渡った落石の危険箇所を避け、既存の住家などに影響が少ない設計の検討が必要」、「町道浦子内線に入る国道からの入り口部分



町道宝積寺線の拡幅状況を確認する議員

そのほか、橋場自治会から要望があった、未整備の集落道と用排水路の不具合箇所を確認。「未舗装の集落道は町の管理道路で狭い状態のため、今後改良整備が必要」との意見が出されました。2日目は、田部、小屋瀬方面を調査。24年2月に発生した凍上災害の復旧工事の完成状況などを確認しました

### 《26年度県事業の主な内容》

26年5月末現在の計画

種別	工事の内容	工事年度
道路事業	茶屋場地区交差点の改良工事 (1箇所)	24~25年度
	四日市地区の道路改良工事 (L=320m)	25~27年度
砂防事業	ヌナヤ沢砂防事業 (ダム1基)	24~28年度
	市部内の沢砂防事業 (ダム2基)	21~28年度
	馬淵の沢砂防事業 (ダム1基)	22~27年度

【調査を終えて】調査の結果、概ね順調に、町の事業が進捗している状況を確認しました。なお、事業の執行に当たっては計画どおりに進め、最大限の事業効果を出せるように進捗管理を徹底することを、町に伝えました。

### 県が進める工事 本年度の計画

2日目の調査終了後、町長と副町長も出席して県との情報交換会を開催しました。

冒頭、県の担当者が、今年度を実施する事業の内容を説明しました。本町で計画されている、主な事業内容は下の表のとおりです。

そのほか、町が要望を行っている城内小路地区の急カーブ箇所の解消に向けて、検討を始める旨の説明を受けました。本年度は、概略設計や地元説明会を計画しています。今後も、町と県が情報を共有しながら、連携して進めて行くことを確認しました。



県との情報交換会の様子 (プラトール)



# インタビュー



岩手銀行葛巻支店長

おぼらともお 小原 智生 さん (47歳)



もっと地域に身近な銀行へ

**Q. 自己PRをどうぞ**

4月から、岩手銀行葛巻支店長として、お世話になってます。北上市（旧和賀町）の出身です。妻、子供2人の家族で盛岡市に自宅がありますが、単身で来ています。

根っからの田舎者で、葛巻での生活を満喫しています。町内のいろいろな場所に出向いて、葛巻のすばらしさを探してみました。

**Q. 葛巻町の印象は**

全国的に町の知名度が高く、クリーンエネルギー政策など、先進的で大胆な発想での取り組みが多い町の印象です。

町の行事にも参加しました

が、イベントの完成度が高く、町民の皆さんの活気もすごくあって、葛巻町のパワーを感じています。

**Q. 岩手銀行の地域貢献は**

お金の流通が本業ですが、葛巻町の発展に貢献することが何より大切だと考えています。

そのために、町が進めるプロジェクトに参画するなど、町や各種団体と連携した取り組みを通じて地域に貢献したいと考えています。

**Q. みなさんにメッセージを**

銀行は、幅広いネットワークを持っていきます。このネットワークを活かして、経営者の事業拡大の支援や、悩み事の相談などを行っています。いわば「よろず相談所」的な存在を目指していますので、もっと銀行を利用して欲しいです。

また、イベントなどを通じて、多くの皆さんと交流を深めたいと思います。見かけたら気軽に声をかけてください。

**表紙 (葛巻ミニバスケットボールクラブの皆さん)**



第31回葛巻カップミニバスケットボール交流大会が、8月2日と3日に葛巻町社会体育館で開催されました。岩手県のほか、青森、秋田、宮城県から男女32チームの参加による交流大会です。この大会は、岩手県で最初のミニバスケットボールチームの活動を始めた本町で、毎年開催されています。葛巻町からは男女それぞれ1チームが参加し、気温が高い中、熱戦を繰り広げました。

【表紙: 交流大会に向けた練習前の葛巻ミニバスクラブ】

**情報公開**

議長が議会の対外的活動をするための経費が議長交際費です。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

4月	43,000円	(葛巻小・中学校教職員交流会ほか)
5月	37,500円	(商工会通常総会ほか)
6月	13,000円	(高砂荘運動会ほか)

次の定例会議は**9月5日(金)**です。

**編集後記**

議会総合条例による議会運営のスタートから、半年が過ぎました。

これまで6月に開催していた議会を、「7月定例会議」の名称で7月に初めて開きましたが、無事に審議を終えることができました。

気温が高く暑い日が続いていますが、熱中症などに気を付けて、お過ごしください。

広報常任委員  
姉帯春治

